



奉行につなぐ、奉行とつなぐ

nConnect *for* 奉行

ndis
変化の一步先を。

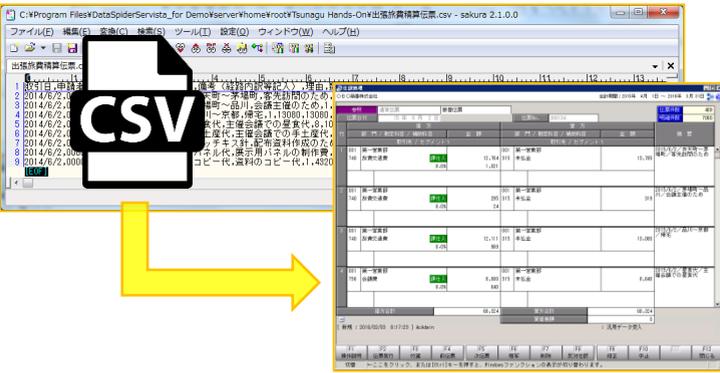
NDIソリューションズ株式会社

nConnect for 奉行 の 利用シーン

CSVファイルを奉行シリーズへ

例えば、ワークフローシステムから勘定奉行へ

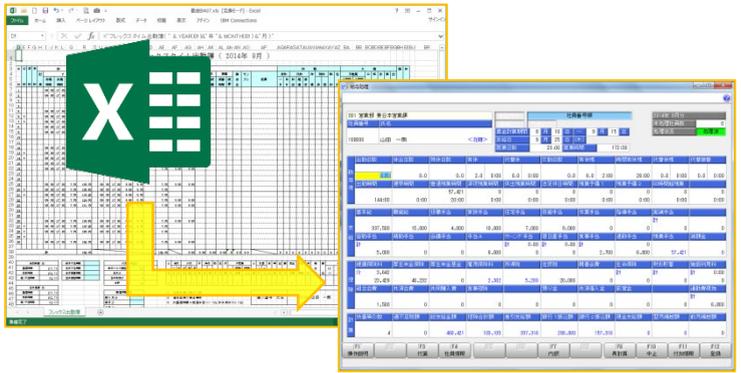
ワークフローなどのシステムで作成されたCSVデータを勘定奉行で受け入れ可能な仕訳伝票データに変換できます。四則演算、文字列の編集・置換などのデータクレンジングを手間をかけずに行えます。



Excelブックを奉行シリーズへ

例えば、Excelブックの出勤簿を給与奉行へ

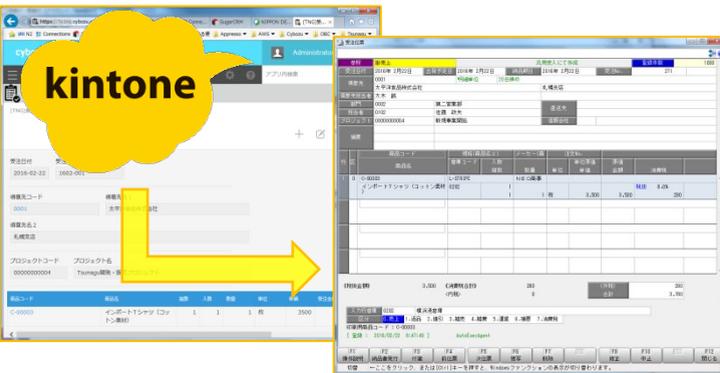
Excelブックに作成された出勤簿を給与奉行で受け入れ可能な給与データに変換できます。大量のExcelブックからの入力や、入力ミスへのリスク、入力後のチェック業務から解放されます。



kintoneアプリから奉行シリーズへ

例えば、kintoneアプリから商奉行へ

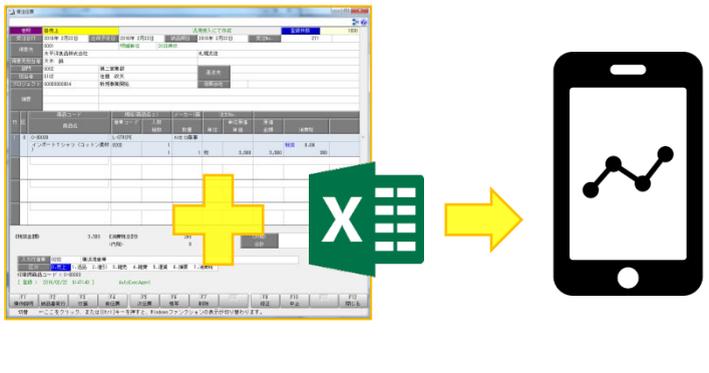
kintoneアプリに入力されたデータを商奉行で受け入れ可能な受注伝票データに変換できます。タブレットやモバイルPCを使い、外出先から受注入力を行うことができます。



奉行シリーズから他のシステムへ

例えば、商奉行からデータ分析（BI）ツールへ

奉行シリーズから取り出したデータをBIツールでの分析に適したデータに変換することができます。Excelで管理されているデータ項目を追加することにより、より精度の高い分析を行うことができます。



データベースから奉行シリーズへ／奉行シリーズからデータベースへ

独自に開発されたシステムのデータベースを直接読み取り、奉行シリーズで受け入れ可能なデータを作成できます。また、逆に奉行シリーズのデータを直接、データベースに書き込むこともできます。



データベース

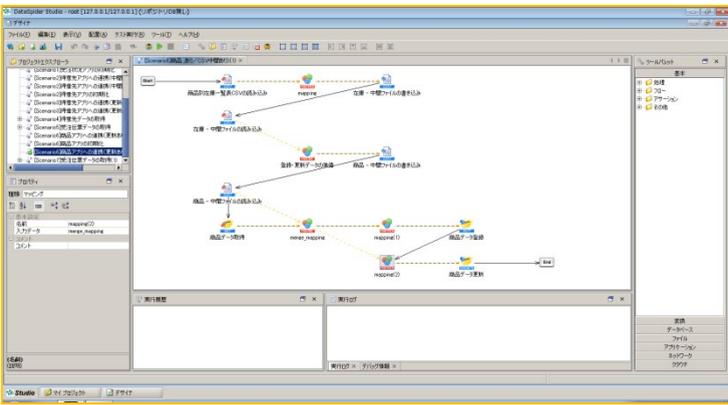
- Access
- JDBC
- DB2
- ODBC
- DB2 for i
- Oracle
- SQL Server
- PostgreSQL
- MySQL



特長

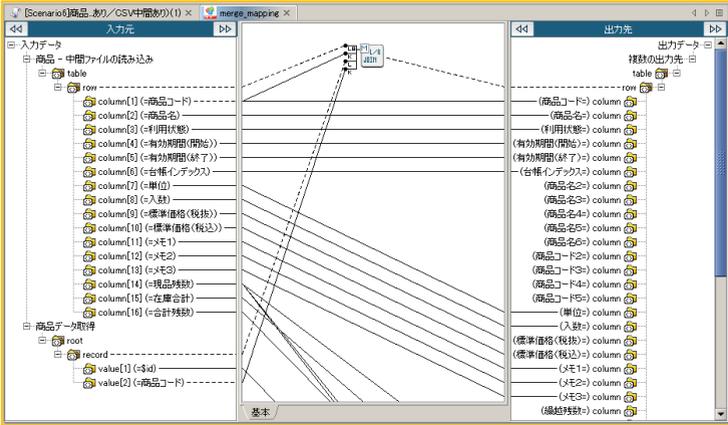
データ連携をファストに実現

データ連携の手順はアイコンを組み合わせることで設定します。接続先に応じた専門的な技術知識や、複雑なプログラミングなどのスキルは必要ないので、システムの専門家を頼らずに設定を行うことができます。



データ編集をプログラムレスで実現

データ編集の際に必要な、データの抽出や四則演算、文字列の編集・置換などもアイコンを組み合わせることで設定します。実現したいことが直感的に設定できます。



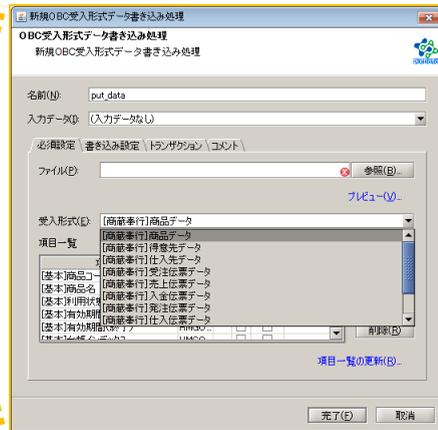
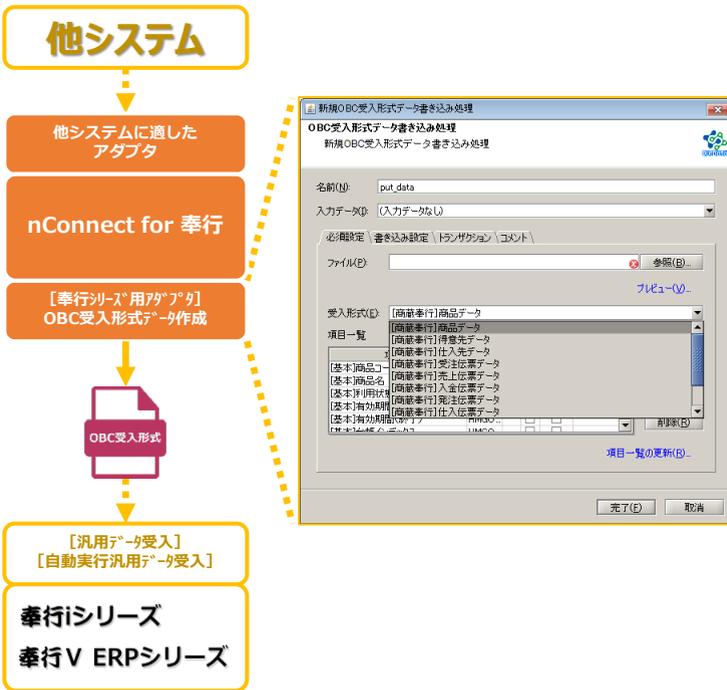
データ連携処理の自動運用を実現

作成したデータ連携処理は様々なタイミングで自動起動することができます。奉行V ERPシリーズの自動実行管理オプションと連携することもできます。

スケジュール	ファイル	その他
毎日 3:00に 実行	ファイルの 新規作成時に 実行	DB の 更新時に実行
毎週 月曜日 8:30 に実行	ファイルの 更新時に実行	HTTP リクエスト 受診時に実行
90分おきに 実行	ファイルの 削除時に実行	ジョブ管理 ツールから実行

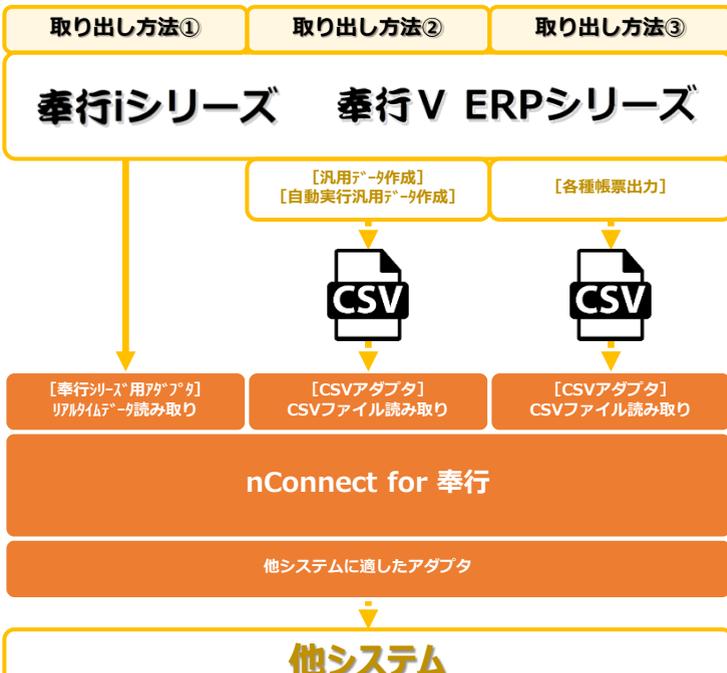
OBC受入形式データをファストに作成

OBC受入形式データのフォーマットがあらかじめ定義されているため、すぐに変換の設定を始めることができます。作成したデータは奉行シリーズの汎用データ受入機能でインポートすることができます。

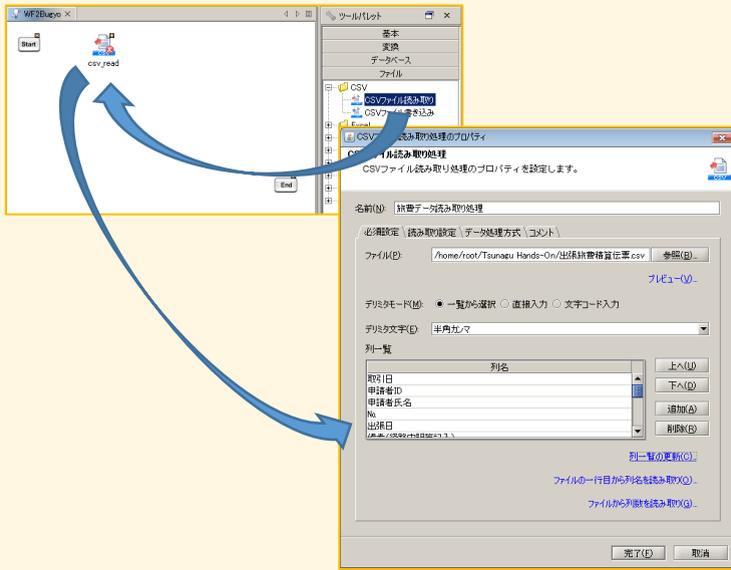


奉行シリーズのデータ活用をよりスムーズに

奉行シリーズからのデータの取り出し方は3つの方法をサポートしています。奉行シリーズから取り出したデータは、nConnect for 奉行に取り込むことで、人手を介さず編集することができます。さらに編集したデータは他のシステムに連携することができます。

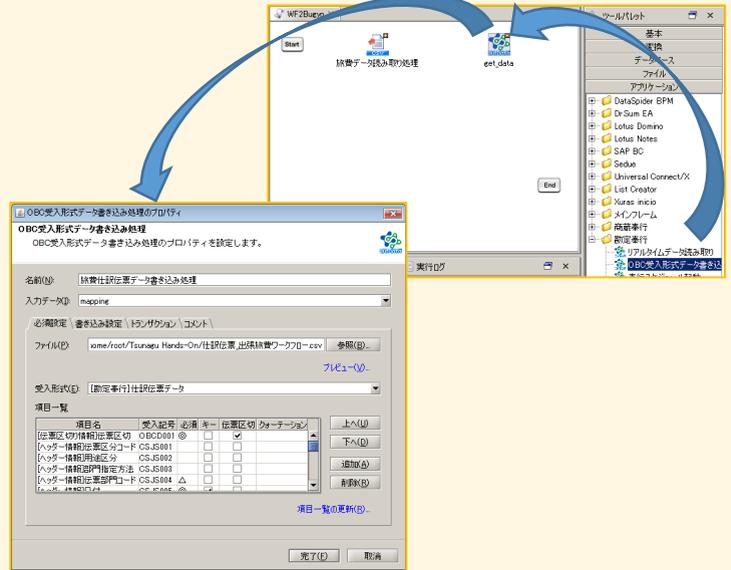


設定のながれ



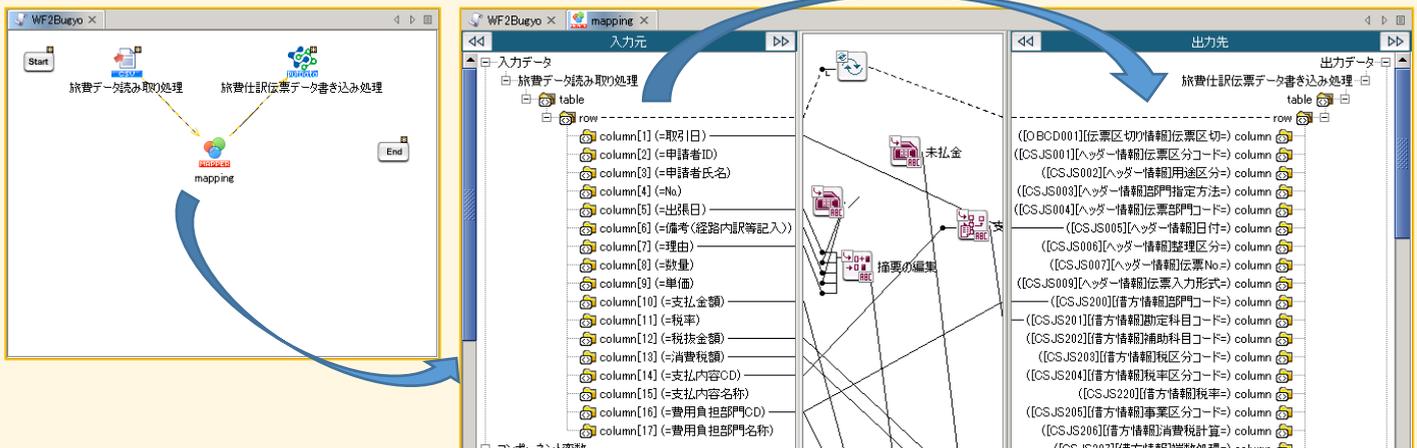
1. 読み取るリソースを設定する

読み取るデータベースやファイル、プラットフォームに合ったアダプタをドラッグアンドドロップでキャンバスに配置します。



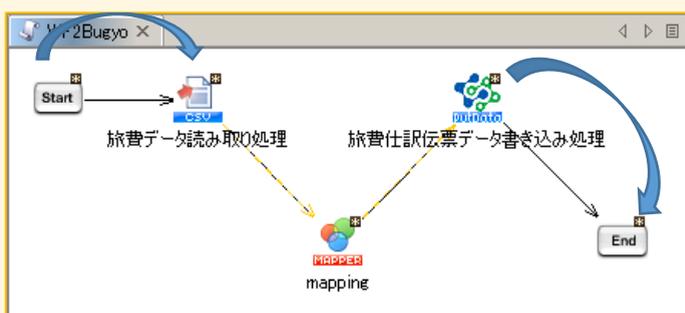
2. 書き出すリソースを設定する

書き出すデータベースやファイル、プラットフォームに合ったアダプタをドラッグアンドドロップでキャンバスに配置します。



3. 編集内容を設定する

入力データの項目を出力データの項目にドラッグアンドドロップして、編集内容を設定します。ロジック（関数）アイコンを使用することで、データの抽出や四則演算、文字列の編集・置換などを設定できます。



4. 処理順序を設定する

アイコンをドラッグアンドドロップし、[Start] のアイコンから [End] のアイコンまでの間の処理順序を設定します。

5. 実行する

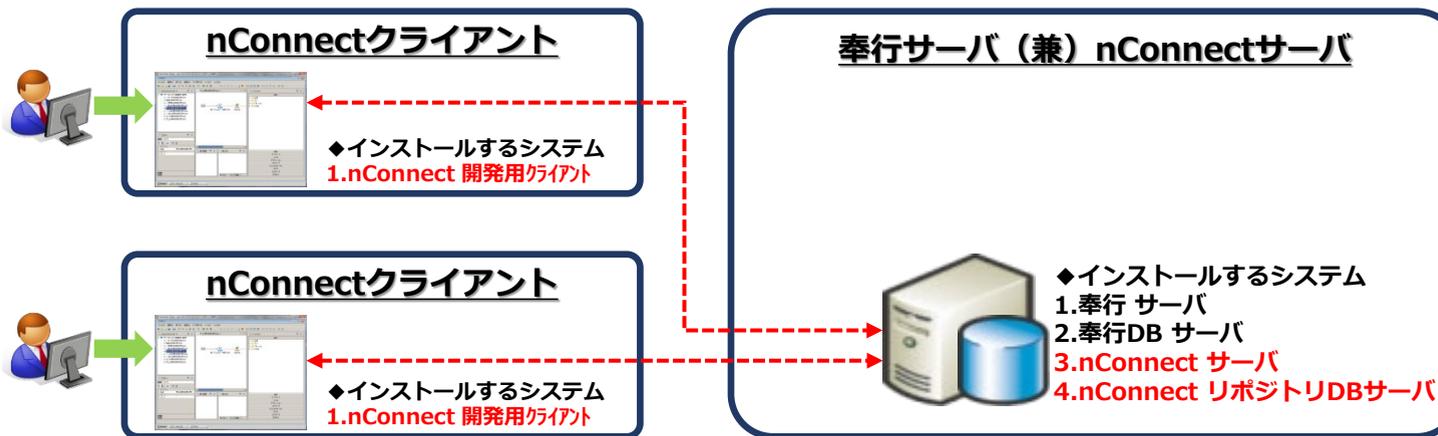
実行し、結果を確認します。

ご利用のイメージ

クライアント・サーバ型（リポジトリDBあり）

----- nConnectの設定データの流れ
 赤字 nConnectでインストールされるソフトウェアなど

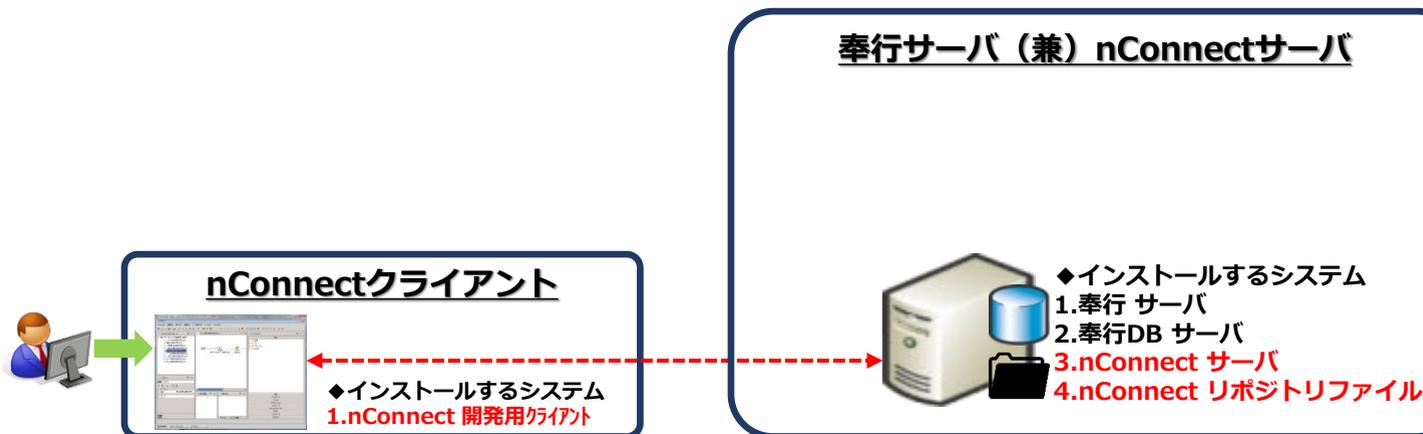
nConnect 開発用クライアントのライセンスを複数お持ちの場合におすすめの構成です。リポジトリDBを設定することで、ユーザ管理機構やファイルのアクセスコントロール機能が使用可能になり、本格的なチームでのデータ連携処理の開発が行えます。



クライアント・サーバ型（リポジトリDBなし）

----- nConnectの設定データの流れ
 赤字 nConnectでインストールされるソフトウェアなど

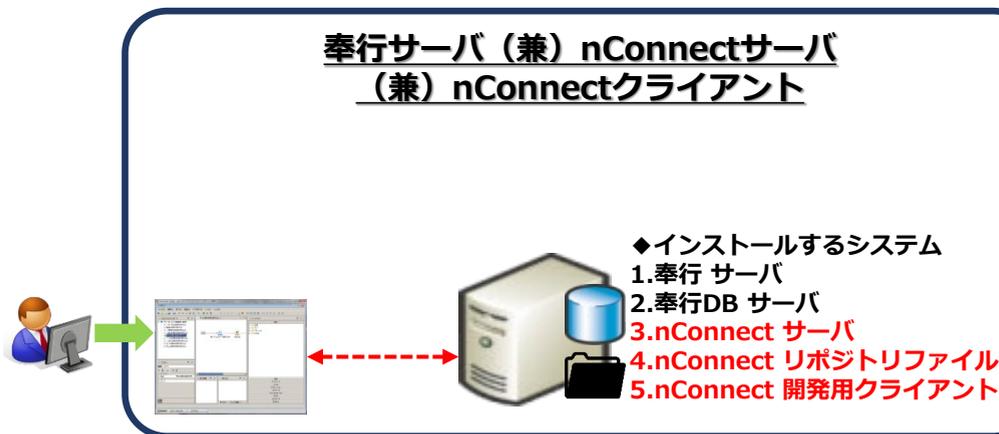
nConnect 開発用クライアントを1ライセンスお持ちの場合の構成です。リポジトリDBを設定しないため、手軽にデータ連携が始められます。



スタンドアロン型（リポジトリDBなし）

----- nConnectの設定データの流れ
 赤字 nConnectでインストールされるソフトウェアなど

全てのシステム（ソフトウェア）を一台のコンピュータにセットアップする場合の構成です。



※奉行 V ERPシリーズの自動実行管理オプションと連携する場合、nConnectサーバは奉行サーバと同じサーバにインストールする必要があります。
 ※nConnect for 奉行がアクセスする奉行シリーズ製品のデータベースには、SQLServerのフルユースライセンスが必要です。
 ※nConnect for 奉行用にクライアントアクセスライセンスが1つ必要です。

機能 (1)

アダプタ

連携対象となるプラットフォームやデータ、データフォーマットへのアクセスはアダプタを介して行います。各種ファイル形式、データベース、IBM Notes、SAP、BIツール、プロトコルなど、多種多様な接続先に応じたアダプタが提供されています。（※基本構成に含まれるアダプタは裏表紙の製品基本構成を参照ください。）

ファイルシステム

- 固定長
- 可変長
- ファイル操作
- CSV
- Excel
- FileSystem
- HTML
- XML

クラウド

- kintone
- GAEデータストア
- Microsoft Azure
- Google Apps
- Amazon Web Services

アプリケーション

- SVF
- List Creator
- Dr.Sum EA
- SAP
- SAP Table Query

データベース

- Access
- DB2
- DB2 for i
- JDBC
- ODBC
- Oracle
- SQL Server
- PostgreSQL
- MySQL

ネットワーク

- FTP
- Web
- Webサービス
- Mail(SMTP/POP3/IMAP4)
- REST
- JMS
- ActiveDirectory(LDAP)

グループウェア

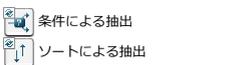
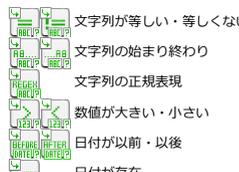
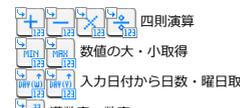
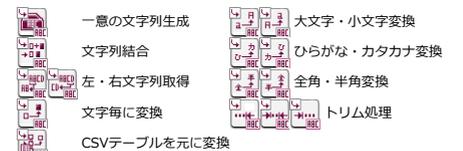
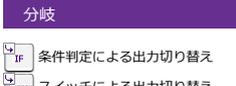
- Lotus Domino
- Lotus Notes

奉行シリーズ

- 勘定奉行
- 商蔵奉行

マッパー

連携元と連携先のデータ項目の関連付けは、マッパーを使って行います。データの演算、抽出、加工に使用するロジック（関数）アイコンにより、ノンプログラミングでのデータ連携を可能にしています。nConnect for 奉行では140種類以上のロジックアイコンを用意しています。ロジックアイコンを単体もしくは、組み合わせることで、強力なデータ編集を可能にします。

繰り返し	条件	日時	数値	文字列
 条件による抽出 ソートによる抽出	 文字列が等しい・等しくない 文字列の始まり終わり 文字列の正規表現 数値が大きい・小さい 日付が以前・以後 日付が存在	 システム日時取得 和暦→西暦変換 年月日・時分秒 演算	 四則演算 数値の大・小取得 入力日付から日数・曜日取得 漢数字→数字	 一意の文字列生成 文字列結合 左・右文字列取得 文字毎に変換 CSVテーブルを元に変換 大文字・小文字変換 ひらがな・カタカナ変換 全角・半角変換 トリム処理
 条件判定による出力切り替え スイッチによる出力切り替え				

トリガー

nConnect for 奉行で作成したデータ連携スクリプトは、トリガー機能によってさまざまなタイミングで自動実行することができます。nConnect for 奉行は7種類のトリガーを用意しています。（※基本構成に含まれるトリガーは裏表紙の製品基本構成を参照ください。）

●ファイルトリガー

監視対象ファイルの新規作成・更新・削除といった各種ファイルイベントにより、スクリプトを起動することができます。このトリガー機能によって、ファイル操作、ファイル転送系アプリケーションとの連携ができます。

●スケジュールトリガー

日・週・月・年・インターバルといった実行スケジュールの指定によってスクリプトを起動できます。カレンダー機能も搭載しているので、営業日や特定の日程に合わせて、実行をスケジュールすることもできます。

●アプリケーショントリガー

運用ツールなど外部のアプリケーションからバッチ実行でスクリプトを起動させるトリガー機能です。

●FTPトリガー

nConnect for 奉行のFTPサーバ機能により、他のシステムからFTP転送されたファイルをきっかけにスクリプトを起動できます。

●DBトリガー

監視対象のテーブル内の特定したカラム（ステータスカラム）が変更されたタイミングでスクリプトを実行させるトリガー機能です。

●Webサービストリガー

Webサービスクライアントから指定したメソッドを呼び出すことで、作成したスクリプトを実行させる機能です。

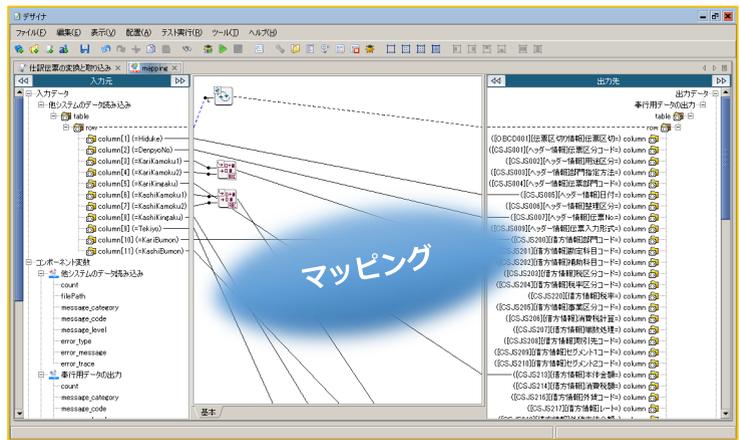
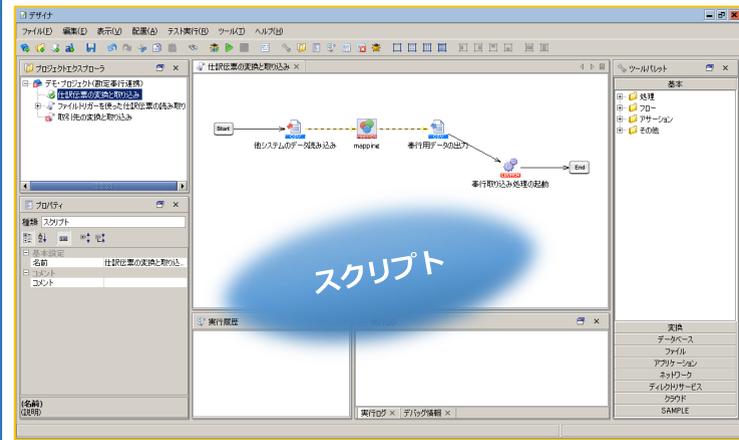
●HTTPトリガー

Webクライアントから、URLを指定するだけでスクリプトを起動できます。また、実行時にJSONやXML、添付ファイルなどのデータのやりとりも可能です。nConnectをAPIとして利用することが可能になります。

機能 (2)

デザイナー (スクリプト開発ツール)

nConnect for 奉行ではデータ連携のフローを表すスクリプトも、データの編集方法を表すマッピングもGUIで設定を行います。プログラム開発を必要としないため、開発や運用の生産性を向上させることができます。また、これらのツールは、すべてのラベルやプロパティが日本語であるため、分かりやすく、優れた操作性を提供します。



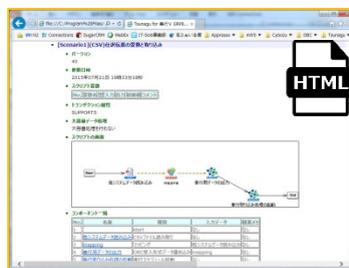
ユーザ管理

nConnect for 奉行では、OSのユーザ管理とは別に独自のユーザ管理機構を行っています。ユーザ管理機構は、ユーザとグループという概念で管理します。ユーザやグループの情報をもとに、プロジェクトの作成・編集の切り分け、ファイルアクセスの切り分けなどを行います。

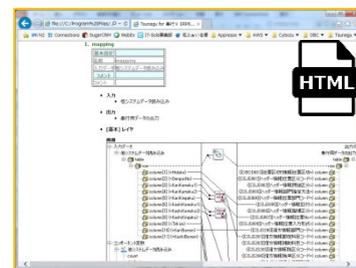


仕様書生成機能

開発されたスクリプトやマッピングを仕様書としてHTML文書で出力することができます。ドキュメント化や引き継ぎ資料、運用時マニュアルなどにとっても便利です。



【仕様書】スクリプト



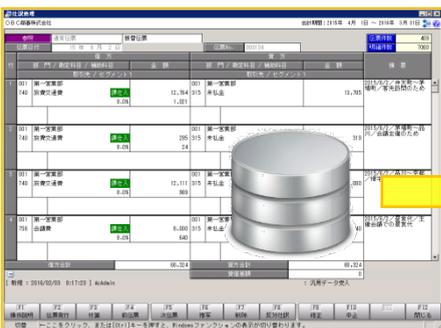
【仕様書】マッピング

奉行シリーズ用アダプタ

nConnect for 奉行では奉行シリーズとのデータの受け渡しに便利な機能を用意しています。

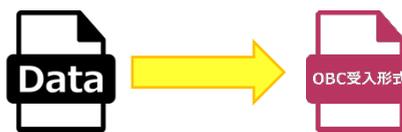
●リアルタイムデータ読み取り

奉行シリーズのデータをダイレクトに読み取ることができます。読み取り条件には変数も設定できるので、指定された条件にマッチするデータのみを抽出することができます。(読み取り可能なデータの種類のりは製品別のリーフレット等を参照ください。)



●OBC受入形式データ作成

奉行シリーズとデータを受け渡しする際の標準形式であるOBC受入形式データのファイルを作成できます。作成したファイルは奉行シリーズの汎用データ受入機能で奉行シリーズに受け入れることができます。(作成可能なデータの種類のりは製品別のリーフレット等を参照ください。)



●奉行スケジュール起動

nConnect for 奉行のスクリプトから奉行V ERPシリーズの自動実行管理オプションのスケジュールを起動できます。nConnect for 奉行のOBC受入形式データ作成機能と、自動実行管理オプションの汎用データ受入機能を連動させることで、データの受入を自動化することができます。

製品基本構成

		nConnect for 奉行 i [ライトエディション]			nConnect for 奉行 i [標準版]			nConnect for 奉行 V ERP		
		CSV Connect	kintone Connect	Excel Connect	CSV Connect	kintone Connect	Excel Connect	CSV Connect	DB Connect	Value Pack
nConnect for 奉行 Server 本体 (※仮想は1CPUを4COREとして換算)		2CPU (8CORE)			2CPU (8CORE)			2CPU (8CORE)		
開発用クライアント nConnect Studio (※同時実行ライセンス)		1クライアント			1クライアント			1クライアント	1クライアント	2クライアント
作成可能なスクリプトの本数		3本			15本			無制限		
奉行 V ERP 自動実行管理OPとの連携		-	-	-	-	-	-	可能	可能	可能
アダプタ (nConnect for 奉行 V ERPのみオプションの追加が可能です。)										
奉行 シリーズ	勘定奉行	いずれか一つ標準装備			いずれか一つ標準装備			いずれか一つ標準装備 ※2つめ以降はオプション		
	商蔵奉行	いずれか一つ標準装備			いずれか一つ標準装備			いずれか一つ標準装備 ※2つめ以降はオプション		
ファイル システム	CSV	標準	-	-	標準	標準	標準	標準	標準	標準
	Excel	-	-	標準 (読込みのみ)	-	-	標準	オプション	オプション	標準
	XML	-	-	-	-	-	-	オプション	オプション	標準
	HTML	-	-	-	-	-	-	オプション	オプション	標準
	ファイル操作	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準
データ ベース	ODBC	-	-	-	-	-	-	-	-	標準
	JDBC	-	-	-	-	-	-	-	-	標準
	Access	-	-	-	-	-	-	オプション	いずれか一つ標準装備 ※2つめ以降はオプション	
	DB2	-	-	-	-	-	-	オプション		
	DB2 for i	-	-	-	-	-	-	オプション		
	MySQL	-	-	-	-	-	-	オプション		
	Oracle	-	-	-	-	-	-	オプション		
	PostgreSQL	-	-	-	-	-	-	オプション		
SQL Server	-	-	-	-	-	-	オプション			
ネットワーク	メール	-	-	標準 (受信のみ)	-	-	標準	オプション		オプション
クラウド	kintone	-	標準 (書込みのみ)	-	-	標準	-	オプション	オプション	オプション
トリガー (nConnect for 奉行 V ERPのみオプションの追加が可能です。)										
トリガー	アプリケーショントリガー	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準
	ファイルトリガー	-	-	-	標準	標準	標準	標準	標準	標準
	スケジュールトリガー	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準	標準
	HTTPトリガー	-	-	-	-	-	-	オプション	オプション	標準
	DBトリガー	-	-	-	-	-	-	オプション	オプション	標準
	Webサービストリガー	-	-	-	-	-	-	オプション	オプション	標準
	FTPトリガー	-	-	-	-	-	-	オプション	オプション	標準
定価 (税抜)		¥160,000	¥200,000	¥200,000	¥350,000	¥450,000	¥550,000	¥1,500,000	¥2,000,000	¥3,250,000

※保守 (ソフトウェア サポート サービス) について

製品のご導入と同時にソフトウェア サポートサービス (年間サポート費用はライセンス価格の20%) のご契約をお願いしております。サポートサービスをご契約いただきますと、最新バージョンのアップデートモジュールの無償提供、Q&Aサポートをお受けいただくことができます。

※支援サービスについて

製品の導入や、スクリプトの作成を支援する支援サービスをご用意しております。詳細については、nConnect for 奉行 取扱代理店または日本電通までお問合せください。

※SQLServerのライセンスについて

nConnect for 奉行がアクセスする奉行シリーズ製品のデータベースには、SQLServerのフルユースライセンスが必要です。また、nConnect for 奉行用にクライアントアクセスライセンスも1つご用意ください。SQLServer Express Editionの場合は、この限りではありません。

● 開発・販売元

NDIソリューションズ株式会社

東京本社 東京都港区港南二丁目15番2号

大阪本社 大阪府大阪市港区磯路2-21-1

E-mail : ndi.marketing@ndisol.com



[nConnect for 奉行HP](#)

● お問合せ